

KISETSU



企業のためのよろず情報誌



主な話題

- ・【特集】 通年雇用助成金の活用を
- ・ 琴似小学校改築の基本設計進む
- ・ 道内高卒就職者の動向と建設業界



札幌市中央区の南1条通に面する「IKEUCHI GATE」(上)の建て替えが完了しました。同ビル北向かいでは、北陸銀行と北海道銀行の「ほくほく札幌ビル」(下)が建設中です。

特集 通年雇用化促進

ウィズコロナで加速する人材不足

建設技能者不足―通年雇用化が急務 通年雇用助成金の活用で安定した人材の育成を

新型コロナウイルス感染症をめぐ
る混乱が落ち着きを見せ、道内の雇
用情勢も改善が進み始めています。
求人、求職者ともに増えている中に
あっても、建設産業における人材確
保は大きな課題です。札幌市内も例
外ではなく、建設従事者の確保が難
しくなっています。その対策の一つ
として、通年雇用化の取組がありま
す。季節労働者を通年雇用に切り替
えることによって、人材確保や育成
を計画的に進められ、貴重な戦力と
なっている労働者の本州などへの流
出を防ぐことができます。通年雇用
化を支援する「通年雇用助成金」の
受け付けが2022年12月16日から
始まります。制度の概要と申請手続
きなどを紹介します。

北海道労働局が2022年10月28

日に公表した9月の有効求人倍率に
よると、道内全産業では1.16倍
と前年同月(0.98倍)に比べ0.
18ポイント上回り、7月以降3カ
月連続して1.1倍以上となってい
ます。

とりわけ建設業の求人数は前年同
月比5.9%増と、人材不足は一向
に解消されていません。職種別有効
求人倍率は型枠大工・とび工が9.
41倍と依然高倍率が続いているほ
か、建設・土木作業員も5.73倍
と人材不足が深刻です。

人材確保に苦勞する建設業では近
年、正社員の求人が増加しています。
建設業の求人に占める正社員の割合
が、2016年度は77.6%だった

ものが年々上昇し、21年度は85.3%
に達しましたが、それでも応募者が
少ない状況が続いています。

新たな人材の確保が困難な中、今
いる人材の定着率向上がますます重
要となっており、季節労働者の通年
雇用化は有効な対策となっていま
す。

冬季3カ月の給与に3年間の 助成金

これから初めて通年雇用助成
金の申請を予定している企業の
場合、対象となる季節労働者は、
2022年9月16日以前から継続
雇用し、23年1月31日の時点で、
雇用保険の特例一時金の受給資格
を得て、この一時金が支給の見込
みであることが条件となります。
(その他一定の要件があります)

助成金は、2022年12月16日
から23年3月15日の間に通年雇用
化した季節労働者一人一人の賃金
(賞与も含む)の額面に応じて支
払われます。2年目、3年目も通

年雇用化していれば、引き続き助成
金を受けることができます。

助成額については、対象期間
(2022年12月の賃金締切日の翌
日から翌年3月の賃金締切日)に支
払った賃金額に対して、1年目が3
分の2(限度額は71万円)、2年目、

季節労働者1人を通年雇用助成金を活用して 月給30万円 で通年雇用した企業の場合

冬季分給与 1月 30万円
2月 30万円
+ 3月 30万円
3カ月合計 90万円

1年目助成 (補助率2/3)

90万円×2/3=60万円

2・3年目助成 (補助率1/2)

90万円×1/2=45万円

通年雇用に必要な3カ月分の給与
は3年間で270万円—

これに対し150万円
が助成されるため

自社の負担は120万円に軽減
されます!

3年目については2分の1(同54万円)が支払われます。

具体的な支払い例を見ると、季節労働者1人を通年雇用し、この時の月給が30万円だった場合、3カ月の総額は90万円になります。助成金は3年間申請できるため、1年目は60万円、2～3年目は45万円ずつ支給されることとなります。

3年間のトータルで考えると、270万円の冬季分3カ月の給与と支払いに対する助成総額は150万円に上り、自社の負担は120万円になります。

一方、通年雇用助成金を利用せず、1～3月の間、週2、3日のアルバイトとして雇い、月15万円を支払うとすると、支払総額は年間45万円、3年間では135万円となり、助成を受けた場合よりも、企業の負担額が大きくなる場合も考えられます。

申請手続きはハローワークで

通年雇用助成金を受け取るための最初の手続きは、地域を管轄するハ

ローワークに「通年雇用届」などの書類を2022年12月16日から2023年1月31日までの期間内に提出することから始めます。

「支給申請書」などを2023年3月16日～6月15日までの間に提出し、支給が決定すると、申請からおおむね2～4カ月後に助成金が北海道労働局から支給されます。2年目以降も、通年雇用を継続していれば、再度の申請手続きを行うことで、3年目まで助成金の給付を受けることができます。

季節労働者の通年雇用化をサポートする「さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会」では、各種経営相談や助成金といった支援制度の活用など、建設業の経営全般に関わる課題解決に向け、協議会が開設している建設業チャレンジ支援センターで幅広くサポートしています。また、「支援員が企業を訪問した際は、遠慮なく相談していただき支援・助成制度を活用してほしい」と呼び掛けています。

〔通年雇用助成金〕

※詳しくは各ハローワークまでお問い合わせください。

通年雇用届(12月16日～1月31日までの期間内に)

1. 通年雇用届
2. 対象労働者申告書(通年雇用届添付)
3. 継続雇用労働者名簿(初めて利用する場合または3年度以上利用がなかった場合のみ)
4. 対象期間内の工事(生産)見込証明書
5. 上記の工事(生産)見込みを証明する請負契約書・注文書等
6. 建設業法または採石業法に基づく登録証(登録している場合)
7. 労働者名簿または雇用契約書(対象労働者分 ただし、初めて利用する場合または3年度以上利用がなかった場合は、在籍する全ての労働者分)
8. 出勤簿(新規継続労働者分)
9. 賃金台帳(新規継続労働者分)

支給申請書(3月16日～6月15日までの期間内に)

1. 支給申請書
2. 対象労働者申告書(通年雇用届添付)
3. 継続雇用労働者名簿
4. 支給要件確認申立書
5. 支払方法・受取人住所届(登録済みの口座を指定する場合は不要)
6. 労働者名簿または雇用契約書(在籍する全ての労働者分)
7. 出勤簿(対象労働者の1～3月分、継続雇用労働者の3月分)
8. 賃金台帳(対象労働者の1～3月分)
9. 工事に関する請求書等および通帳の写し(通年雇用届時に契約書等が提出できなかった場合)

通年雇用インタビュー

道路工業株式会社 取締役工事安全部長 星野黒 義明さん
柔軟な雇用形態を導入し人材の確保を

全道各地と関東地方でも舗装現場を展開する道路工業（本社・札幌）。現地採用の従業員のうち7割程度を季節雇用者が占めています。継続的に働く季節雇用者には通年雇用の道を開き、ステップアップを目指す人には資格を取得して監理技術者への登用も行うなど、さまざまな働き方や雇用形態を柔軟に導入しながら、人材の確保と働きやすい職場の実現を目指しています。

現場と雇用の状況はいかがですか

ここ数年は、北海道開発局や北海道庁、市町村などの公共機関から70件から80件程度の工事を受注しています。工事場所は全道各地で、関東地方での仕事もあります。現場での作業は、当社の社員を現場代理人として配置し、彼らの指示の元で従業員が作業します。この従業員は

150人程度で、このうち季節雇用者は7割程度を占めています。

季節雇用者は、現地採用が多く、高齢化が進んでいます。一方でコロナ禍により雇用状況が厳しくなったこともあるのか、20代の若者の雇用も増えています。当社では5年間継続して働いた場合、通年雇用の希望があるかを聞き取ります。希望すれば通年雇用にしますが、冬期間になると北海道では除雪以外はあまり



雇用と安全関係を担当する星野黒取締役

仕事がないため、関東地方で受注した現場に配置することもあります。

近年の若手の確保は

厳しいですね。札幌市に本社があるとはいえ、全道各地に現場があるため、地方での勤務になるということも要因の一つだと思います。また、それほど多くはないのですが、働き始めても、地方で数ヶ月の勤務があると、友人や家族、恋人が札幌にいる場合、札幌での勤務を望み、退職する人がいます。

一方で、違った場所、知らない土地で働いてみたい、という若者もいます。継続して働いている季節雇用の若者には、社会保険の費用など、通年雇用のメリットを説明し、通年雇用になるよう働き掛けています。新卒者や経験者の確保とともに、こうした季節雇用の若者を通年雇用化し、本人の意欲次第で監理技術者になることも奨励しています。

通年雇用の意義について

先ほど、社会保険のメリットを説明する、と言いましたが、通年雇用



全道と関東地方でも現場が稼働する

になることで、監理技術者への道も開かれ、将来設計が立てやすくなります。人材の確保は企業にとつて大きな経営課題です。通年雇用を契機に、意欲ある若手を確保できれば、企業にとつてもメリットは大きいですね。

また、生まれ育ち、なじみのある地域で働きたい、という希望に添うために、その地域に限定した勤務も導入しています。さまざまな働き方や雇用形態を柔軟に導入しながら、人材の確保と働きやすい職場を実現させていきたいと思っています。

琴似小学校改築の計画概要 新校舎は2026年度完成へ 24年度から部分仮設校舎に着工で検討

札幌市は、西区琴似2条7丁目1の30にある琴似小学校の改築に向けた基本設計を進めています。現在の敷地内で校舎や屋内運動場を建て替える計画で、新校舎には児童会館を併設します。2023年度内に実施設計を終え、24年度からは仮設部分校舎の建設やプールなどの解体に着工、新しい校舎と屋内運動場は26年度中に完成させる計画です。

琴似小学校は、1877年に開校した歴史ある学校です。校区内には地下鉄東西線琴似駅とJR函館本線琴似駅があり、商業施設や高層マンションが建ち並ぶ利便性の高い地域で、2026年度まで児童数の増加が見込まれています。

現在の校舎棟は1972年建設

の鉄筋コンクリート造の3階建てで、2013年に一部増築されています。屋内運動場は1994年に改築されていますが、共に老朽化が進んでいるため、改築が決まりました。



琴似小の現校舎

2022年1月に策定した基本計画段階の概算事業費としては、校舎などの建設に約37億円、解体に約3億

円、グラウンド造成に約2億円を見込んでいます。

新校舎などの建築設計は西村建築設計事務所（本社・札幌）、設備設計は共伸設備設計事務所（同・札幌）が担当しています。

新校舎は、3階建て延べ床面積8,611㎡の規模で計画し、既存校舎の約1.5倍の延べ床となります。新たな機能としては、多目的ホールを備えた児童会館（延べ450㎡）が併設されます。

普通教室21教室や特別支援学習室3教室、特別教室などは2、3階を中心に配置し、1階には図書室、給食室、児童会館などを設置する方針です。

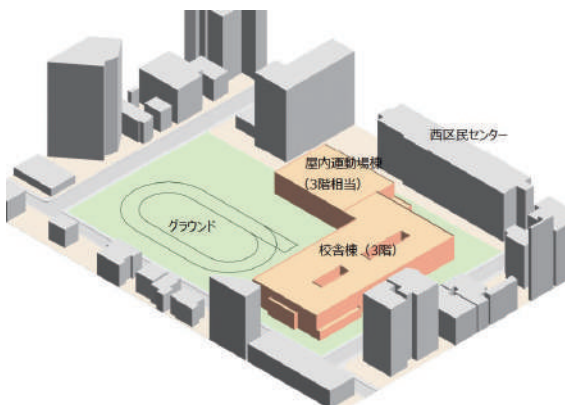
新屋内運動場は、2階建て延べ1,358㎡で、既存施設より数%広がる見込みです。

改築は、敷地面積1万4,196㎡の中で進め、現在グラウンドやプールがある南側に、新しい校舎・

屋内運動場を建設します。

建設の手順は、2024年に部分的な仮設校舎を建設した後、既存増築校舎とプールの解体に取り掛かります。25年度から新しい校舎・屋内運動場の建設に着工し、26年度末までに完成させて、27年度から新施設の使用を開始します。

2027年度に既存の校舎・屋内運動場、部分仮設校舎を解体した後、28年度には約6,500㎡の広さのグラウンドを整備して完了する計画です。



琴似小改築の配置イメージ

札幌市発注工事の3分の1以上で ゼロカーボンの取組を計画 工事成績評定の加点評価で後押し

札幌市財政局工事管理室は、2022年度の市発注工事におけるゼロカーボンの取組状況（8月1日時点）をまとめました。工事成績評定の対象となる884件のうち、35%に当たる312件で実施または実施予定となっています。ゼロカーボンの取組を工事成績で評価する初年度となるため、LED照明の使用など幅広い内容を評価対象としています。ただ、取組が困難な規模の小さな工事もあるほか、温室効果ガス削減効果の把握方法など、今後の評価基準の在り方を検討するため、各現場の取組状況について分析を進めています。

道内建設業が率先してカーボンニュートラルの取組を推進するた

め、札幌市や北海道開発局、北海道が連携し、2022年度から「北海道インフラゼロカーボン試行工事」を展開しています。

試行工事の発注に当たり、市は4月に工事成績採点運用表を改定し、4月1日以降に完成する設計金額500万円以上の対象工事について、ゼロカーボンの取組を「地域への貢献」として加点対象にしています。施工業者が実施内容を施工計画書などに記載して提出し、実際に取組が行われた場合、加点評価します。

8月1日時点の集計による市の対象工事は、財政局、水道局、交通局の発注を中心に、竣工済みが100件、未竣工が784件でした。この

うちゼロカーボンに取り組む工事は竣工済みで24件（実施率24%）あり、未竣工では288件（同37%）の予定となっています。

取組件数は、1件の工事で複数取

札幌市発注工事のゼロカーボン取組状況

取組内容	(2022年8月1日時点)		
	未竣工	竣工済	計
現場事務所に太陽光発電・風力発電などを導入	15	1	16
現場事務所で再生可能エネルギー由来の電力を購入	2	0	2
現場事務所の緑化	3	0	3
現場事務所にLED照明を導入	84	2	86
現場の夜間照明などにLEDを採用	153	17	170
ソーラー発電を備えた仮設資材を使用	231	18	249
工事現場で使用する連絡用自動車の環境対応	21	1	22
低炭素型建設機械・燃料基準達成建設機械の使用	29	1	30
建設機械にバイオディーゼル燃料を使用	25	2	27
工事看板・木杭などに間伐材を使用	59	1	60
その他（発注者が費用計上していない遠隔臨場、ICT施工等）	29	1	30
合計	651	44	695

り組む場合があるため、延べ数で竣工済みが44件、未竣工が651件の計695件に上っています。

主な取組内容は、「ソーラー発電の仮設資材」の使用が249件と最も多く、「現場の夜間照明などにLED」を使用したものが170件、「現場事務所のLED照明」設置が86件、「工事看板・木杭などに間伐材使用」が60件です。

また、温室効果ガスの削減効果が大きいと期待される「低炭素型建設機械・燃料基準達成建設機械の使用」は30件、「建設機械にバイオディーゼル燃料使用」は27件でした。

工事管理室では、規模が小さく工期が短い工事も多いという市発注工事の特徴を踏まえた評価の在り方、ゼロカーボン推進に効果的な取組の把握など、取組状況の分析を進めるとともに、開発局や道との情報共有を通じて、今後の運用などを検討していく意向です。

放牧と養鶏と菓子作りの循環モデル 「盤渓農場」始動 きのこや系ユートピアアグリカルチャー

菓子製造販売きのこや、千秋庵製菓でつくる北海道コンフェクトグループ（本社・札幌）傘下のユートピアアグリカルチャー（同・日高町、以下ユートピア社）は、2022年

10月から札幌市中央区盤渓地区で「盤渓農場」の運営を始めました。「盤渓農場」の運営を始めました。平飼いの鶏舎を設置して、生みだての卵を一般販売するほか、菓子材料としてグループ向けに供給。また、馬や牛を放牧することで森を再生する研究も北海道大学やソニーグループ（同・東京）と共同で実施します。

ユートピア社は、日高町で放牧酪農や平飼いの養鶏を行っており、乳牛70頭、鶏5,000羽を飼育しています。そこで搾った生乳や産みだての卵を、札幌市内の「きのこや

ファーム店」で加工、グループ向けの原材料として供給しているほか、自社でチーズケーキを製造・販売、「チーズワンダー」のブランドでオンライン販売しています。

今回、「盤渓農場」を開設したのは、日高町での放牧酪農や養鶏のノウハウをさらに発展させ、多様な動物による森の再生と菓子作りを循環させるビジネスモデルを構築するのが狙い。昨年、22haの森を取得して、農業用のパイプハウスを使って鶏舎2棟と牛馬まじゅう厩舎1棟、研究執務室1棟の計4棟を設置しました。

鶏舎には鶏が食べる植物を植えて平飼いを進化させ、1坪当たり6〜7羽と通常飼育数の4割に抑え、不要なストレスを与えない伸び伸びと

した環境をつくりました。鶏の飼料には、菓子製造で出てくるケーキのスポンジくずやクッキーくず、イチゴのヘタなどの端材を一定程度混ぜ、卵の味がどう変化するかなども検証。鶏舎2棟で1,000羽を飼育しています。

山林には、現在、北大静内研究農場の北海道馬種、道産子9頭を放牧。飼料などは与えず、敷地内のクマザサなどを食べさせています。北大とソニーグループとの共同研究期間は2年間。ソニーグループの持つセンシング技術などを使って、草木の成長や土中成分の変化、二酸化炭素の吸収などについてデータを蓄積、動物による森林再生を実証実験します。

ユートピア社の長沼真太郎代表取締役は、「美味しいお菓子を作るためには、どんな生乳が良いのかを追求していく中で、放牧酪農に出会いました。放牧酪農には大きなメリッ

トがあり、盤渓農場は、お客様に放牧の価値を伝えるさまざまな実験の場になりたい」と話しています。その上で、「土壌が良くなれば草がより良くなり、それを食べた牛の生乳もおいしくなり、それを利用したお菓子もおいしくなる。毎年お菓子がおいしくなって、土地も良くなっていく循環のビジネスを構築していきたい」と目標を語っています。



「盤渓農場」の鶏舎など



さっぽろニースア・ラ・カルト

- ・南2西3再開発ビルに「ロフト」「ソニーストア」入居
- ・新「IKEUCHI GATE」が完成
- ・セイコーマートでスイーツコンテスト入賞作品を販売

まちと人が躍動する札幌圏。この地域ではさまざまな出来事と話題が提供され、それが人々の関心を集め、それがまち全体の活気を呼び起こしています。「さっぽろ ニースア・ラ・カルト」では、そんな「旬な」話題をご紹介します。

**「ロフト」と「ソニーストア」が入居
南2西3の再開発ビル「Eo YUKS APPORO」**

札幌市中央区南2条西3丁目の市街地再開発事業として建設が進んでいる、再開発ビル「モユクス APPORO（モユクサツポロ）」の商業施設フロア核テナントに「ロフト」と「ソニーストア」が入る見通しです。



建設が進んでいる「モユクサツポロ」

「モユクサツポロ」は、地下2階地上28階の市街地再開発ビル。2019年7月から着工し、23年春に開業予定です。地下2階は地下街ポータルタウンと直結。地上7階まで商業施設などで、2階から3階がオフィス、4階から6階が札幌大通水族館（仮称）、7階は屋上庭園、9階から28階が大京（本社・東京）のマンション（ライオンズタワー札幌、

133戸）がそれぞれ入居します。「モユク」は、アイヌ語で狸（たぬき）を意味し、mo（小さな）とYuk（えも）が語源。建設地は狸小路商店街に位置し、新しい施設周辺を中心に、日常のちよっとしたうれしいモノやコトが集まることを願ってネーミングされました。

商業施設の低層階に「ロフト」と「ソニーストア」が入る見通しです。「ロフト」は現在、JR札幌駅直結の商業施設エスタとJR苗穂駅付近の商業施設アリオ札幌にあります。エスタは再開発のため2023年夏で閉館することが決まっております、その代替店舗になります。「ソ

ニーストア」は現在、札幌三越東隣の南1条西3丁目に店舗があります。国内5番目、北海道初の直

営店として17年4月にオープンしましたが、移転によってさらに発信力を高めるものとみられます。

**欧米のアウトドアショップなどがオープン
新「IKEUCHI GATE」が完成**

2021年6月から、中央区南1条西2丁目で工事が進められていた丸刈池内（本社・札幌）の新「IKEUCHI GATE（イケウチグート）」ビルがこのほど完成し、新店舗が開業しました。まずは3、4階に欧米のアウトドアショップなど複数の店舗がオープンし、今後順次各階の店舗が開業する予定です。

同ビルは、旧イケウチグートビルを解体して新築したもので、鉄筋コンクリート一部鉄骨造の地下1階、地上8階建て、延べ9、297㎡の規模です。設計は、日本を代表する世界的建築家、伊東豊雄建築設計事務所（本社・東京）代表の伊東豊雄氏が担当、岩田地崎建設（同・札幌）



欧米のアウトドアショップなどが開店した新「IKEUCHI GATE」

が施工しました。

10月15日にオープンしたのは、3階の3店舗と4階の「IKEUCHI HALLAB（イケウチ・ラボ）」です。3階にオープンする店舗は、米ワイオミング州発祥でアウトドア、サバイバル、防災品などを販売する「HUNGRY JACK, S Gen era i Store（ハングリージャックス・ジエナルストア）」と、北欧フィンランド発祥で百年以上の歴史を持つヨーロッパ最大級の衣料品メーカーの小売店舗「LUTHA OUTDOOR・LIFESTYLE」

E（ルフトアウトドア・ライフスタイル）」、そしてアウトドアウェアなどを販売する「IGATEE KEUCHIEXERT（アイゲートイケウチ・エグジット）」です。

4階のイケウチ・ラボは、新しい技術や製品開発、イノベーション開発、学習、ユーザー体験のプラットフォームとして、道内の大学・研究機関などの連携を支援。北欧諸国をはじめとする温暖化など地球規模の課題解決に向けた研究機関と連携しながら、北海道と世界を繋ぐハブの役割を持たせる予定です。

「ハイスクールパティシエロワイヤル2022」セコマが全店舗で入賞商品4品の販売を開始

セコマ(本社・札幌)は、2022年10月から道内のセイコーマート全店で、スイーツコンテスト「ハイスクールパティシエロワイヤル2022」入賞商品4品の販売を開始しました。

「ハイスクールパティシエロワイヤル」は、道内の高校生に菓子作りのアイデア・技術を発表する場を提供し、将来の北海道の菓子業界を担う人材の発掘、産業の育成と発展を図ることを目的としたスイーツコンテストです。今年で5回目を迎えています。

3年ぶりに三笠高校生レストラン「MIRKASACOOKING ESSOR（ミカサッキングエソール）」内の「キッチンスタジアム」で実際に高校生たちが調理競技を行う本選は、7月30日に開催されました。過去最多となる全道の高校14校から応募があり、23チーム24作品のアイデアが集まりました。

一次審査を通過した8チームが本選へ出場。制限時間内にスイーツを製造し、味・見た目・アイデアなどを審査した結果、最優秀賞には、真狩高校の「きなこかおる ずんだろーる」、優秀賞には同じく同校の「ルバーブタルト〜タルトに咲く紫と白のローズたち〜」、奨励賞には

北海道文教大学付属高校の「トマトとビーツのさっぱり夏マカロン!」、審査員特別賞には静内農業高校の「道産野菜が詰まった「畑のモ〜ンブラン」」がそれぞれ入賞を果たしました。

最優秀賞の「きなこかおる ずんだろーる」は、ずんだクリームを巻いたロールケーキの上にきなこクリームを絞った「大豆を活かしたスイーツ」。きなこやずんだの味をしっかりと感じられる一品です。



最優秀賞に選ばれた真狩高校の「きなこかおる ずんだろーる」

高卒就職者数減少も建設業は健闘 産業別シェアは3位に 道の2021年度学校基本統計7,000人台に減少

道が集計した2021年度学校基本統計によると、高卒者で就職先に建設業を選択した生徒は、前年度比5.4%減の927人でした。マイナスとはなったものの、コロナ禍による景気の不透明感などにより、進学を選択する生徒が増加し、就職者が12.5%減となる中、産業別で建設業が占める割合は11.7%と、卸・小売業を抜いて3位のシェアに上昇しました。地域別に見ても建設業の就職者数の増加は顕著で、十勝、渡島、根室で2桁増を示し、就職人数の最も多い札幌市でも3.5%増となりました。

道が毎年度作成しているもので、卒業後の進路や産業別の就職先などを振興局と市町村単位でまとめてい

ます。2021年5月1日時点の状況を過去のデータと比較・分析しました。卒業者数は10年前の2011年度の4万6,701人から毎年度減少し、21年度は前年度比1.9%減の3万9,200人と、11年度に比べ約7,500人、16.1%減少しています。

就職者数も減少傾向をたどり、2021年度は7,813人と、前年度は8,929人、11年度には9,171人だった就職者が7千人台まで落ち込みました。ここ1～2年は、コロナ禍による景気の不透明感を背景に専門学校など進学を選択する生徒の増加が主要因と見られます。

産業別の就職者数の動向では、建設業や製造業、卸・小売業など主要

業種の就職者数は対前年度比で全てマイナスとなっています。特にコロナ禍が直撃した宿泊・飲食サービス業は約4割減少、卸・小売業、製造業も2桁減を示しています。一方、建設業は5.4%減にとどまり、公務員を選択した生徒数は3.1%減と、就職者数が大幅に減る中、マイナス幅は小さくなっています。

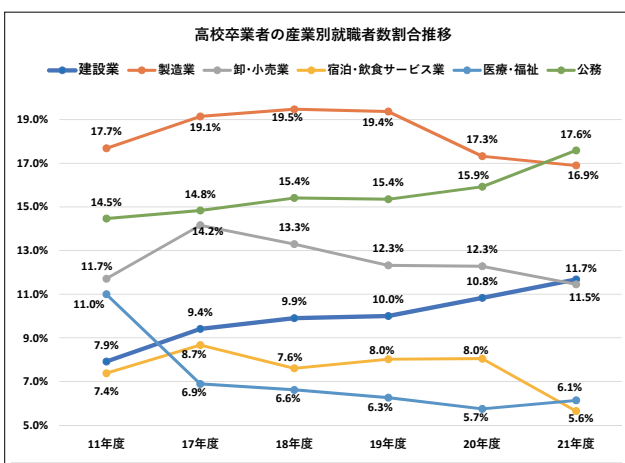
こうした状況を受けて、産業別の就職者数割合は大きく変動しました。建設業は11.7%のシェアを確保。卸・小売業を抜いて3位にランクアップ。建設業の10年前のシェアは7.9%と、全産業で5位でしたが、その後、シェアを伸ばし続け、2019年度には10%を超え、20、21年度も堅調な伸びを見せています。

地域別の建設業の就職者数推移を見ると、十勝が約3割増を示し、渡島、根室も2桁増を確保しています。就職者数が最も多い札幌市も3.5%

5%増となり、建設業のシェア増に貢献しています。また、就職者数に占める建設業の割合では、日高が15%を占め、空知も14%と全道平均を上回っています。

建設業への就職者数の伸び率が高い市町村では、恵庭市が前年度の3人から11人に増えているほか、根室市が2人から8人に、士別市も5人から11人に、幕別町が5人から10人にそれぞれ増加しました。札幌市は6人増の176人でした。

高校卒業者の産業別就職者数割合推移



発注 2022年度の鉄道運輸機構の北海道新幹線発注状況 工事は高架橋中心に10件、536億円を

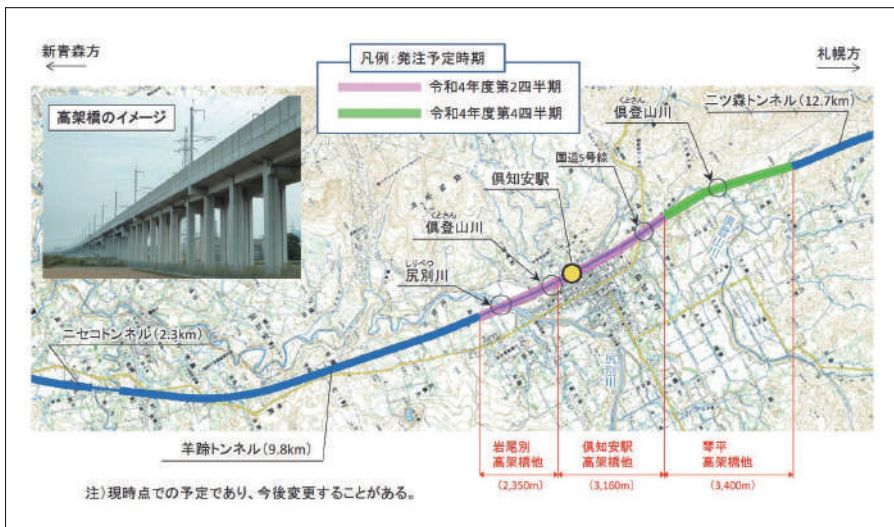
鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）北海道新幹線建設局の2022年度発注状況がまとまりました。工事では、現在掘削中のトンネルに続いて、八雲町、長万部町、倶知安町など渡島・後志管内で「明かり工事」となる高架橋整備が本格化し、10月11日までに10件、約536億円を発注しています。業務では19件、約6億円を発注し、新小樽駅など駅舎設計がスタートしています。

同建設局では、2022年度に工事22件、業務38件の発注を予定しています。工事は本年度に入ってからトンネル以外の高架橋などのいわゆる「明かり部分」の工事発注が本格化しています。北海道新幹線は約8割をトンネルが占めています。今回

の明かり部分は、新八雲や長万部、倶知安といった駅周辺の高架橋工事が中心となります。

開札済みの工事を見ると、17件がWTO政府調達協定対象で大部分を高架橋が占めています。倶知安駅、平里（長万部町）、宮田（ニセコ町）、明治（赤井川村）の4高架橋が開札済みで、倶知安駅は西松建設・植木組・堀口組・戸沼岩崎建設JVが288億5,500万円で落札。高架橋2,750mなどの整備を予定しています。また、平里（高架橋1,470m、橋梁370m）は三井住友建設・青木あすなろ建設・ドーピー建設工業JVが92億2,300万円で受注しています。

公告中の工事では、岩尾別（倶知安町、12月23日開札、延長2,354m）と大新（八雲町、2023年1月13日開札、延長2,883m）の高架橋2件の開札を予定しています。今後広告予定で22億8千万円以上のWTO対象とな



倶知安駅周辺の高架橋などの位置図

る工事では、年内にかけて琴平高架橋（倶知安町、高架橋2,510m、橋梁280m、路盤550m）、国縫高架橋（長万部町、高架橋1,520m、橋梁620m）など10件の公告を予定しています。

業務については、19件が開札済みとなり、新小樽駅、長万部駅、新八雲駅の3駅の設計が進んでいます。新小樽についてはJR東日本建築設計（本社・東京）が8千万円で落札しています。発注者支援業務も3件が発注となり、いずれもティーネットジャパン（同・高松）が受注しています。公告中は長万部地区水文調査など3件で年内に開札する予定です。今後は倶知安駅建物設計など15件を予定し、このうち10件が発注者支援業務となっています。また、第4四半期には、北海道新幹線建設時に発生する自然由来重金属などを含む土砂の対策案の策定及び検証業務の発注も予定しています。

緊急措置必要の「Ⅳ」は10力所、早期措置の「Ⅲ」は902力所に 2021年度道路メンテナンス年報橋梁などの道内点検結果

国土交通省は2021年度版の道路メンテナンス年報を公表しました。北海道内の橋梁やトンネル、道路付属物（シールド）の点検結果では、緊急に措置を講じるべき状態と判定された「Ⅳ」は市町村道で10力所あり、いずれも橋梁でした。また、早期に措置を講ずべき状態である「Ⅲ」は902力所に上り、これらの判定を受けた施設は、全施設数の16%を占めています。修繕などに着手済みは、全体の46%に達し、全国の38%を上回る数値となっています。

同省では、5年に一度のサイクルで、橋梁やトンネルなどの点検を道路管理者に義務付けています。点検作業は2014年度から18年度にかけて1巡目が完了し、19年度から2巡目の点検に着手しています。今回

まとめた年報では21年度に実施した点検結果を公表しています。点検結果は老朽度や損傷の程度によりⅠ～Ⅳ段階で判定し、Ⅲは早急な措置、Ⅳについては緊急措置を求めています。

北海道内の施設については、緊急に措置が必要なⅣ判定は市町村道の橋梁10力所です。最長は遠軽町の豊里若松間道路清川大橋（248m）で、2022年度から改修工事が行われています。

一方、早急な措置が必要とされるⅢ判定の管理者別内訳は、北海道開発局が111力所、北海道が108力所、市町村597力所、NEXCO東日本36力所となっています。このうち、橋梁で100m以上の長大橋は114力所あり、市町村が43力所と約3分の1を占めています。札幌市内では、国道の274号1C高架橋（957m）や275号雁来大橋（638m）、5号新川高架橋（429m）のほか、道道札幌環状線白石環状跨線橋（302m）などがⅢ判定となっています。

これまでの対策措置の実施状況をみると、Ⅳ・Ⅲ判定を受けたのは、330力所に上り、このうち対策完了は200力所、修繕などに着手済みは858力所。全体の46%が対応済みで全国の38%を上回る数値となっています。

トンネルのⅢ判定は、国道の231号浜益トンネル（4,748m、札幌開建）、229号豊浜トンネル（2,229m、小樽開建）、276号滝笛トンネル（1,545m、室蘭開建）などがあり、札幌市内では230号薄別トンネル（159m）が該当します。シールドでは、

国道274号鹿鳴第二覆道（544m、室蘭開建）、道道土別滝の上線第一上紋覆道（418m、旭川建管）などとなっています。全橋梁に占めるⅣ・Ⅲ判定割合を地域別に見ると、胆振・日高が29%と最も高く、日高町やむかわ町は全体の約3割がこれらの判定を受けています。札幌市については、12%と全道平均を大きく下回っています。

地域別					道路管理者別				
	施設数	Ⅳ	Ⅲ	割合		施設数	Ⅳ	Ⅲ	割合
札幌市	232	0	27	11.6%	開発局	703	0	111	15.8%
石狩	233	0	49	21.0%	北海道	952	0	108	11.3%
渡島・檜山	543	1	103	19.2%	市町村	3,755	10	597	16.2%
後志	311	0	46	14.8%	NEXCO	242	0	36	14.9%
空知	670	1	96	14.5%	合計	5,652	10	852	15.3%
上川	761	1	68	9.1%					
留萌	155	0	26	16.8%					
宗谷	216	2	32	15.7%					
オホーツク	525	3	94	18.5%					
胆振・日高	604	2	171	28.6%					
十勝	975	0	137	14.1%					
釧路・根室	427	0	53	12.4%					
合計	5,652	10	902	16.1%					

21年度の橋梁などの点検結果がまとまりました

ものづくりの「匠」をたたえて 国交省が「建設マスター」と「建設ジュニアマスター」を 顕彰

国土交通省は、2022年度の「建設マスター」を決定しました。優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成に大きな貢献をした建設技能者を顕彰。合わせて今後一層の活躍が期待される青年技能者を「建設ジュニアマスター」として選定しました。北海道在住者については、建設マスターに29人、建設ジュニアマスターで4人が選ばれています。

国土交通省では、「ものづくり」に携わる技能者に誇りと意欲を持ってもらい、社会的評価の向上を図ることを目的として、特に優秀な建設技能者を対象に19992年度から毎年「優秀施工者国土交通大臣顕彰」（建設マスター）を実施しています。また、2015年度からは、青年技能者を対象に「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」（建設ジュニアマスター）をスタートさせました。

北海道からは、建設マスターに川村英一さん（舗装工、道路建設）、

建設マスターと建設ジュニアマスターは次の各氏です。（敬称略、カッコ内は職種と所属会社）



北海道からは建設マスターに29人が選ばれました

篠原武夫さん（舗装工、道路工業）、

千葉一訓さん（舗装工、荒井建設）、

永井清司さん（しゅんせつ工、西村組）らが晴れの受賞となりました。

建設マスターと建設ジュニアマスター

【建設マスター】▽阿部恒久（電気工、富士電気）▽荒木貞夫（建設機械運転、工ハラダ工業）▽池田新（配管工、道研設備）▽石渡明裕（機械器具設置工、八洲機電）▽織田幸（塗装工、伊藤塗工部）▽亀谷渉（建設機械運転工、白鳥建設工業）▽川村英一（舗装工、道路建設）▽木村隆三（内装仕上工、ランカー）▽栗山智積（橋梁特殊工、丸和工業）▽佐々木英雄（建具工、佐々木工業）▽篠原武夫（舗装工、道路工業）▽柴田克也（とび工、北斗工業）▽須藤敏史（大工、月永組）▽高木正明（鋼構造物工、マルタカ工業）▽高田健（熱絶縁工、エコテック・ワン）▽千葉一訓（舗装工、荒井建設）▽永井清司（しゅんせつ工、西村組）▽中西一男（大工、石塚建設興業）▽梨木仁（屋根工、梨木工業）▽新本英雄（コンクリート工、小鍛冶組）▽野坂祐也（建設機械運転工、加藤建設）▽秦幸平（大工、柏倉建設）▽福江忠司（建設機械運転工、日重建設）▽堀江裕樹（内装仕上工、インターネットリアほりえ）▽本田貴之（タイリング工、本田タイル工業所）▽前田英貴（大工、柏倉建設）▽丸山明（塗装工、佐藤興業）▽水木政徳（大工、土屋ホーム）▽門奈吉之（注入工、日特建設）

【建設ジュニアマスター】▽内山暢之（熱絶縁工、内山工業）▽木下正孝（タイル工、木下タイル）▽小出恵介（電気工、ヤンマーエナレッジシステム）▽田中雄介（コンクリート工、帯広コンクリートポンプ）

田克也（とび工、北斗工業）▽須藤敏史（大工、月永組）▽高木正明（鋼構造物工、マルタカ工業）▽高田健（熱絶縁工、エコテック・ワン）▽千葉一訓（舗装工、荒井建設）▽永井清司（しゅんせつ工、西村組）▽中西一男（大工、石塚建設興業）▽梨木仁（屋根工、梨木工業）▽新本英雄（コンクリート工、小鍛冶組）▽野坂祐也（建設機械運転工、加藤建設）▽秦幸平（大工、柏倉建設）▽福江忠司（建設機械運転工、日重建設）▽堀江裕樹（内装仕上工、インターネットリアほりえ）▽本田貴之（タイリング工、本田タイル工業所）▽前田英貴（大工、柏倉建設）▽丸山明（塗装工、佐藤興業）▽水木政徳（大工、土屋ホーム）▽門奈吉之（注入工、日特建設）

「空飛ぶクルマ」国内実用化に向けて大きな前進 国土省がJoby Aviationの型式証明申請を受理

国土交通省は2022年10月18日、米国の空飛ぶクルマの設計製造企業・Joby Aviation（ジョビー・アビエーション、以下ジョビー社）が開発中の機体について、同社からの航空法に基づく型式証明申請を受け付けたと発表しました。型式証明は商業運航も含めて安全に飛行できることを国が証明するものです。日本で初の受理となり、国内での事業展開が可能となります。同省では、今後、開発の進捗に合わせて、航空機の安全性や環境適合性に係る審査を進めていく方針です。

同社が開発しているのは、ヘリコプターやドローン、小型飛行機の機能を持つ「eVTOL（イーブイオー）」。

パイロット1人を含め5人乗りで、最高時速約320km、連続飛行可能距離は約240kmとなっています。eVTOLは電池駆動式の垂直離着陸機で、比較的狭い場所でも離着陸でき、全電動で部品点数が少ないためメンテナンス費用も比較的安価です。ドローン技術の進展により、パイロットが不要な自律飛行を実現しやすいといった利点が「空飛ぶクルマ」に適していると考えられています。安全性・環境性などに優れ、道路渋滞や過疎地の輸送など、さまざまな交通課題を解決できる新たな移動サービスとして注目されています。

ジョビー社は2009年に設立。本社は米カリフォルニア州サンタクル

ルスで、eVTOLの開発や設計、製造を手掛けるほか、米国内では旅客輸送サービスの提供も計画しています。同社にはトヨタ自動車（本社・愛知県豊田市）が出資しているほか、全日本空輸（ANA）を傘下に持つ



ジョビー・アビエーションが開発を進める「空飛ぶクルマ」（出典：同社プレスリリース）

ANAホールディングス（本社・東京）ともパートナーシップを締結しています。ジョビー社は経済産業省と国土交通省が主催する「空の移動革命に向けた官民協議会」にも参加しており、今回の型式証明申請により日本国内でのサービス提供を目指し準備を進める予定です。

同省では同日、米連邦航空局（FAA）との協力声明にも署名。齊藤鉄夫国土交通相は同日の記者会見で「空飛ぶクルマについては、2025年の大阪・関西万博での商用運航の開始に向けて政府全体で取り組んでいる。空飛ぶクルマは、世界的にも開発が進められており、世界標準を日本が先駆けて作っていくということが、国際戦略上非常に重要な点であり、今回の署名はその一つの大きな一里塚になると思っています」と期待感を示しました。

さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会からのお知らせ

合同企業説明会の 出展企業を **募集** します!

さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会では、季節労働者および一般求職者を対象とした合同企業説明会を開催いたします。通年雇用での採用意向のある企業と求職者とのマッチングを目的として、下記の通り出展企業を募集します。

開催日時・会場

令和5年2月2日(木)

13:00~16:00

サッポロファクトリーホール
(中央区北2条東3丁目)

出展企業の募集について

通年雇用マッチング事業「合同企業説明会」
～安定就職のための「お仕事探しフェアinさっぽろ」～
[募集企業数30社]

- 当日の出展料と会場駐車料金(1台分)は無料です。
- 労働保険・社会保険等に加入し雇用する求人に限らせていただきます。
- 求人案内のみ掲載することも可能です。

申し込み締め切り

12月23日(金)

申し込み多数の場合は、
抽選の上、決めさせて
いただく場合があります

※新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、出展者および来場者の安全確保の観点から、実施内容の変更や中止となる場合があります。



お申し込み・詳細は **通年雇用マッチング事業運営事務局**

受託事業者：株式会社北海道アルバイト情報社

〒060-0061 札幌市中央区南1条西6丁目20-1 ジョブキタビル

TEL:011-223-3533 FAX:011-223-3313

〔受付時間 月～金 9時～17時〕メール:tsunenkoyo-info@haj.co.jp 担当:丸山・田中

※募集案内をご希望の企業様は、会社名、連絡先をメールまたはお電話でご連絡ください。



お問い合わせ

さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西8丁目2番地39 IMS札幌大通 5F



0120-916-881

HP <http://sapporo-kisetsu.jp/>

TEL.011-211-1823 FAX.011-211-1822

さっぽろ 季節

検索



[協議会のご利用時間]9時00分～17時00分 土日祝日および12月29日～1月3日はお休みです。
※協議会の専用駐車場はございません。

驚きと発見、そして北海道へ

今、「ほっかいどう学」が熱い!!

認定 NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長 新保 元康



<北海道の玄関口を彩る「はこだて花かいどう」>

玄関を開ければそこにある道路。毎日必ず使う道路。私たちの生活に欠かせないインフラです。この道路を美しく快適にしようと汗を流している方たちがいます。「函館花いっぱい道づくりの会」（代表・折谷久美子さん）を中心に地域の小・中・高校生やスポーツ少年団、各町会の方まで、多くの方が参加するボランティア活動です。

6月上旬に函館新道の沿道約600mに6,400株の花を植え、10月下旬には後始末を行います。今年はこの活動に参加させていただきました。先日10月23日、約300人の皆さんと一緒に気持ち良い汗を流してきました。

花で飾られる函館新道は、函館ICのすぐ近く。函館の入り口であり、北海道の入り口です。地域の方にとっては、毎日利用する道路であり、道外海外から来る旅行者の皆さんにとっては北海道の第一印象を決めるおもてなしの道路です。参加した中学生は「住民の方や、旅行者の方たちに喜んでもらえるのでとてもやりがいがあります」と話してくれました。

道路と言えば、「国や地方自治体が整備するもの。自分たちとは関わりがない」と思う人が多いかもしれません。そして、「整備が悪い」「工事を早く終わらせて」とクレームも寄せられます。しかし、道路はもともとそこに生活する人たちのものでした。生活やコミュニケーションの場であり、遊びの場でもありました。地域の方が道路を開削し、整え、メンテナンスをしながら自分たちの生活をより豊かにしてきたのです。寒暖の差が激しく、降雪も多い北海道では、「道普請(みちづしん)」として、地域の力が結集する大切な場でした。この「はこだて花かいどう」は、そうした原点に戻る活動なのかもしれません。

半年間、花をきれいに咲かせるには日々の世話がとても大切です。地域の皆さんに加え、建設業など企業の協力もとても大きいのです。この日は函館開発建設部の皆さんもボランティアとして、焼きそばづくりに汗を流していました。

この素晴らしいボランティア活動は、今年でなんと19年目にもなるそうです。最初に参加した中学生は、今や親となり自分の子どもを連れて参加している方もいるとか。自らが参画するまちづくり、みちづくりの精神は、着実に次世代に受け継がれています。



花で彩られた函館新道



後始末に汗を流すボランティアのみなさん



Profile

新保 元康（しんぼ・もとやす）1958年小樽市生まれ。北海道教育大学卒業後、札幌市内の小学校に37年間勤務。4校で校長を務め定年退職後、令和元年に発足したほっかいどう学推進フォーラム理事長に就任、現在に至る。

編集後記

▽「企業のためのよろず情報誌 K I S E T S U」12月号をお届けします。通年雇用化を支援する「通年雇用助成金」の受け付けが12月16日から始まります。今号では、制度の概要と申請手続きなどを特集しています。ぜひご覧下さい。

▽先日、釧路市まで出張しました。阿寒ICが供用となり、札幌からの旅はかなり楽になりましたが、最近、鹿との衝突事故が多発しているため、運転はかなり緊張を強いられました。路面も凍結する季節です。皆様もスピードは控えめに、安全運転を心がけて下さいね。